

経理システム 運用保守業務 仕様書

国家公務員共済組合連合会

2025(令和7)年11月

第1章 調達件名

経理システム運用保守業務

第2章 作業の概要

2.1 目的

本調達においては、国家公務員共済組合連合会本部（以下「連合会」という。）の経理部と各部室課及び国家公務員共済組合職員共済組合本部（以下「共済組合」という。）が使用している経理システム（以下「対象システム」という。）の運用保守業務を調達対象とするものである。対象システムにおける運用保守業務は、問題対応やトラブル検出・切分け・解決の迅速化等の「安定稼動の実現」、構成情報の確実な管理や利用実態に応じたリソース配分の実現等の「継続的な最適運用の実現」及び運用保守の実現等の「運用負荷・コストの低減」を基本方針として実施することとする。

2.2 業務概要

対象システムは連合会経理部と各部室課、及び共済組合が使用し、「経理伝票起票」と「所属所出納計算表データの取込」や「帳票作成」業務を支援する下記機能を保有する。また、経理業務運営に必要な各種情報を格納する電子ファイル保存用サーバ（経理部ファイルサーバ）も範囲となる。

No.	サブシステム名称	業務概要
1	経理システム	共済組合分を含む各経理の起票、帳簿作成など。 ・取引処理 ・集計処理 ・決算処理 ・管理会計処理 ・その他（締め処理）
2	経理部ファイルサーバ	連合会経理部の電子ファイル保存用サーバ。経理部職員であれば、経理システムがインストールされていない端末からもアクセス可能。

2. 2. 1 システム利用者数

対象システム利用者は以下の通り

部室課名	サブシステム名称	ユーザ数	備考
経理部 (経理システム操作者)	経理部ユーザ1	18	
経理部 (経理システム操作者以外)	経理部ユーザ2	14	経理部ファイルサーバのみ利用
総務部人事課	各部ユーザ	1	経理部ユーザと同等の機能を利用する
病院部	各部ユーザ	1	月次・年次で所属所出納計算表等情報を経理システムに取込む
宿泊事業部	各部ユーザ	1	同上
旧令病院部	各部ユーザ	1	月次で所属所出納計算表情報を新経理システムに取り込む 年次で決算整理伝票を新経理システムに直接入力する
共済組合	共済組合ユーザ	10	
合計		46	

2. 2. 2 システム利用時伝票件数

対象システム伝票件数は以下を想定する

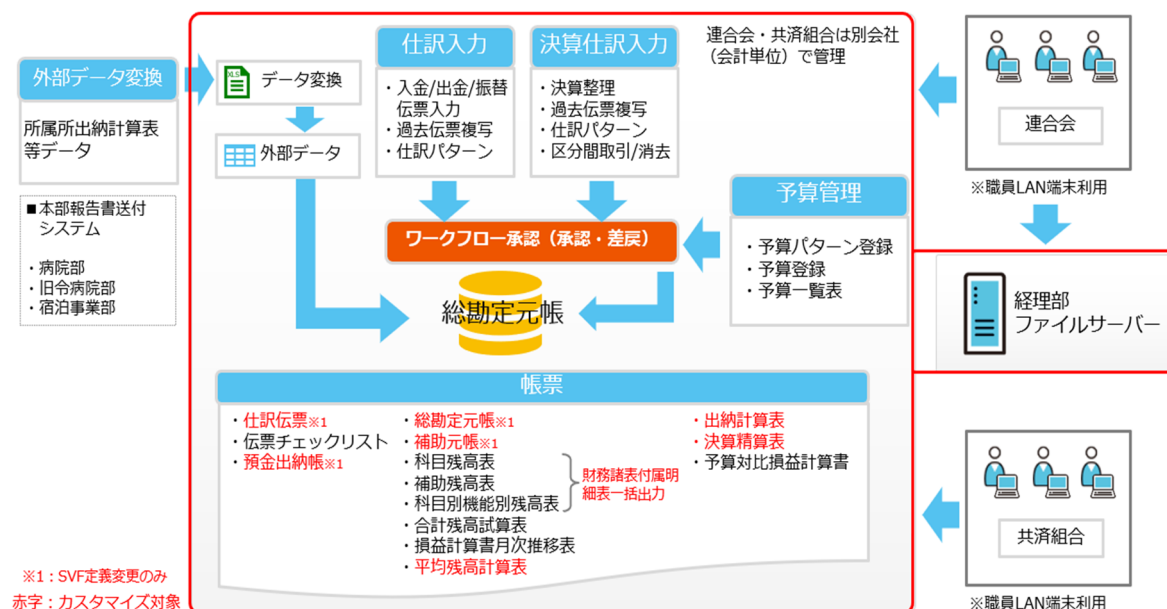
伝票種類	伝票件数
伝票情報(本部会計の伝票のみ、決算整理分含む)	年間9,000件程度
出納計算表等情報(本部所属所合算用、経理区分別所属所出納計算書の合算情報)	年間40件程度
経理部ファイルサーバ保管電子ファイル	容量:1TB程度
共済組合分伝票情報(決算整理分含む)	年間1,000件程度

2.3 システム概要

経理システムは、統合経営ソリューションSuperStream-NXを中心とし、連合会固有要件に沿ったアドオン機能を実装しており、連合会経理部と各部室課、及び共済組合が利用し、「経理伝票起票」と「所属所出納計算表データの取込」や「帳票作成」業務を支援する下記機能を保有する。

各所属所の出納計算データは、本部報告書送付システムにて作成された出納計算情報を外部データ取込にて経理システムへ毎月手動で取込を行っている。

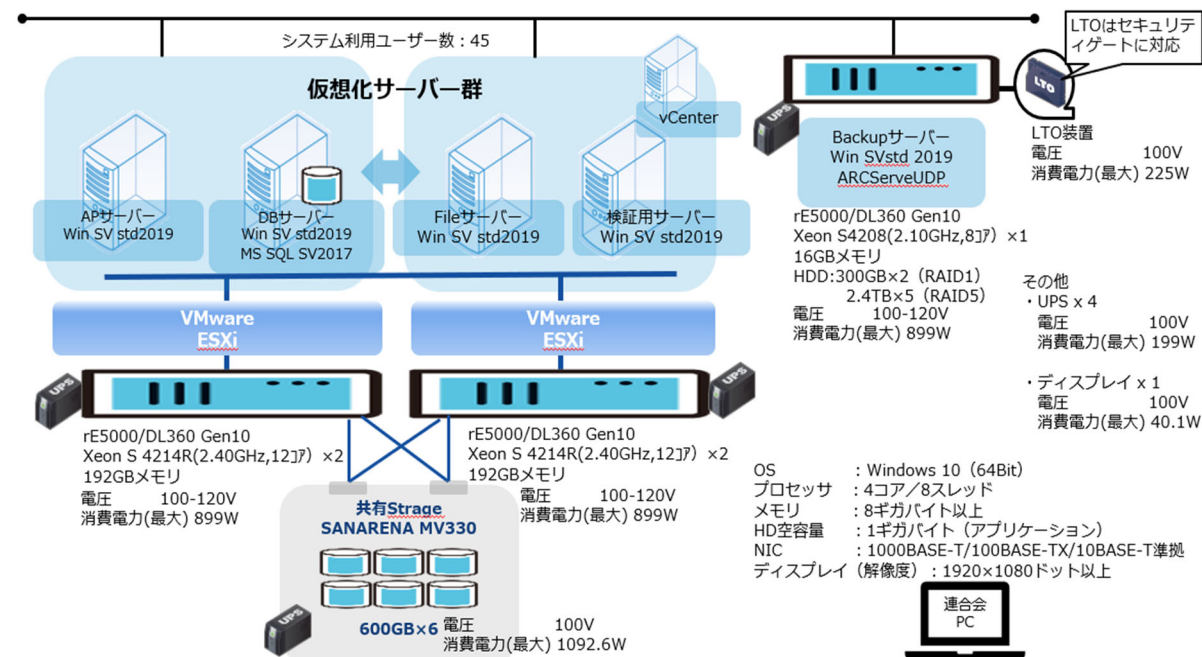
対象システム全体概要について以下の図に示す。



2.3.1. システム構成図

対象システムは、物理サーバ2台の上にVMWareにより冗長化構成で実装されている。

各システムを構成するサーバ機器等の種類、稼動しているハードウェア製品、稼動しているソフトウェア製品は、それぞれ、添付1「システム構成表」に示すとおりである。



2.3.2. システム機能一覧

対象システムの機能は、添付2「経理システム機能一覧」に示すとおりである。

2.4 調達範囲

調達範囲は以下のとおり。詳細は第3章 運用保守要件を参照すること。

- ① 運用保守
- ② ハードウェア・ソフトウェア保守
- ③ SuperStream-NX製品ライセンス保守

2.5 運用保守時間帯

各業務の提供時間帯は以下のとおりとする。

- ① 運用保守：平日(年末年始、祝祭日除く)9:00～17:30
- ② ハードウェア・ソフトウェア保守：平日(年末年始、祝祭日除く)9:00～20:00
- ③ SuperStream-NX製品ライセンス保守：平日(年末年始、祝祭日除く)9:00～17:30

上記時間帯において運用保守業務の要員(以下「運用要員」という。)の対応が可能であること。

ただし、ハードウェア障害を含むシステムの異常を検知した場合は、担当職員及び関連業者に速やかに連絡して適切な対応を開始できる体制をとること。また、計画停電やシステム定期点検に伴う残業対応など、システム運用時間外でも対応できる体制をとること。

2.6 契約期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日とする。

2.7 提出成果物

① 提出書類

- ・ 本調達における提出資料一覧は以下のとおりとする。なお、各提出資料は日本語で記載し、原則として Microsoft Word 及び Microsoft Excel 等(使用するバージョンは連合会に確認すること)で作成すること。

提出書類	提出期限
要員名簿	令和8年4月13日(月)まで 運用要員名に変更が生じる場合は、要員交代の1カ月前までに連合会へ報告し、変更後の要員名簿を提出すること
運用における体制図	令和8年4月13日(月)まで
運用計画書	既存「運用計画書」に改定が発生した場合のみ
保守計画書	既存「保守計画書」に改定が発生した場合のみ
業務完了報告書	毎月完了後速やかに提出すること
運用報告書(月次)	毎月第3火曜日までに前月分の運用報告書を提出すること
保守報告書(月次)	毎月第2月曜日までに前月分の保守報告書を提出すること
トラブル票及びトラブルに関する個別報告書	別途、連合会と定めた期日
インシデント台帳	毎月第2月曜日までに前月分のインシデント情報を提出すること
引継計画書	報告対象月の翌月の7営業日以内

② 納入場所

国家公務員共済組合連合会 経理部経理課 九段合同庁舎9階

第3章 運用保守要件

3.1 運用保守

対象システムに関する運用保守サービスの要件は以下のとおりとする。

① 運用計画書の改定

運用支援作業に対する全体目標、運用体制、役割分担を設定し、運用計画の作成及び見直しを行う。

② 運用手順書の作成

既存の運用手順書を参照し関連業者に周知する。また、運用状況に応じて定期的に見直しを行う。

③ 運用評価・改善

運用計画に基づき、定期的に運用結果を評価する。また、システム環境のチューニングを含む運用改善提案を行い、連合会承認の上、運用改善を実施する。

④ 会議体の運営

運用全体に係る定例会議を開催し、運用状況の評価及び改善提案等を行う

3.1.1. システム監視

各サーバに設定された「サーバ異常検知機能」や「運用スクリプト」等によって、対象システムの監視について以下の作業を実施する。

① 稼働計画管理

システムの稼働計画を立て、計画に基づき電源投入の設定変更等を行う。

② 稼働監視

対象システムの各種サーバは、2台の物理サーバ上でVMwareによる仮想環境(HA構成)に構築(バックアップサーバは除く)されており、障害発生時はVmwareが検知し、電子メールにて通知される仕組みとなっている。従って、常駐体制によるシステム常時監視は行わない。

但し、システムのハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに対する稼働状況を各種ログで確認し、月次で以下の実績を集計、取り纏めし報告すること。

- ・ソフトウェアの利用状況(エラー発生状況、利用状況)
- ・ファイルサーバの利用状況
- ・ハードウェアの各種状況(性能、容量、故障、縮退)
- ・バックアップなどの定期起動ジョブの実行結果
- ・セキュリティアラートの発生状況

各機器と障害検知時の電子メール通知は以下の通り。

分類	検知方法
SuperStream-NX APサーバ(仮想)	VMwareが仮想マシン異常を検知
SuperStream-NX DBサーバ(仮想)	VMwareが仮想マシン異常を検知
SuperStream-NX 検証サーバ(仮想)	VMwareが仮想マシン異常を検知
FILEサーバ(仮想)	VMwareが仮想マシン異常を検知

VMware vCenterサーバ(仮想)	VMwareが仮想マシン異常を検知
PCNS仮想アプライアンス(仮想)	VMwareが仮想マシン異常を検知
VMware ESXi#1 サーバ	VMwareが物理マシン異常を検知
VMware ESXi#2 サーバ	VMwareが物理マシン異常を検知
バックアップサーバ(物理)	Arcserve UDPがバックアップ処理異常を検知
LTO装置	Arcserve UDPがLTO無応答を検知
SANARENA MV330(共有ストレージ)	SANARENAがHDD異常を検知
UPS (無停電電源装置)	PowerChuteがUPS異常を検知
L2スイッチ(ネットワークハブ)	VMwareがネットワーク障害を検知

月次で点検するSuperStream-NXログは以下の通り

分類	出力先	点検内容
エラーログ	¥log¥ERROR	エラー有無(通知や警告は除く)
ログイン/ログアウトログ	CMAUTLOG	業務時間外のアクセス有無

月次で点検するSuperStream-NX以外のログは以下の通り

分類	出力先	点検内容
イベントログ	OS内部	エラー有無(通知や警告は除く)
データベースアクセスログ	ERRORLOG	業務時間外のアクセス有無
VMwareログ	vCenterサーバ	電子メール通知未達のエラー有無
バックアップ実行ログ	Arcserve UDP	電子メール通知未達のエラー有無
共有ストレージログ	SANARENA	電子メール通知未達のエラー有無
UPSログ	UPS	電子メール通知未達のエラー有無

3. 1. 2. インシデント管理

対象システムに発生したインシデント(システム利用に際しての間合せ、システムの不具合、機器の故障、エラー、警告メッセージの発生など)を検知した場合は、以下のとおり対応を実施すること。なお、効率的に障害対応を行うため、以下の障害区分を設け、障害対応を行う際の判断基準を明確化する。

障害区分	初動	障害の状態・条件など
重障害	緊急	システムに深刻な障害が発生し、システムダウン、サービス停止などが発生している状態、情報セキュリティが侵害され又はそのおそれがある場合に緊急対応が必要。
中障害	翌営業日	一部のサービス停止など、顧客には部分的な影響があるが、主たるサービスには影響がない状態。 (例) 通信の瞬断、運用管理の不具合等
軽障害	翌営業日	顧客の業務には直接影響はないが、何らかの対処を行わないとトラブルに発展する可能性があるもの。 (例) しきい値超過、冗長構成の片系ダウン等

- ① 過去のインシデント情報を検索し、対応できる事象がある場合、回答又は解決方法にて対応を実施すること。但し、システムへの侵入、ウイルス感染等、セキュリティに関するインシデントである可能性がある場合は、速やかに連合会に報告し、連合会の指示に基づいて対応すること。
- ② 過去のインシデント情報を検索し、対応できる事象がない場合、緊急度、優先順位、影響範囲等を考慮して、問題管理としてエスカレーションすること。
- ③ 発生したインシデント、その対応内容及び対応結果について記録を作成し、一元的に保管及び管理すること。

3. 1. 3. 問題管理

インシデント管理からエスカレーションされてきた事象について、速やかに連合会に報告するとともに、以下のとおり、トラブルとして対応を実施する。

- ① 内容を確認し、関連事業者の責任分界点に従って「一次切り分け」として問題を切り分けること。問題の切り分けに当たって必要があれば、連合会の了承を得た上で、関連事業者に調査を依頼すること
- ② 障害の切り分け後、障害の該当箇所を担当している関連事業者に対して、問題の原因を特定させ、連合会の了承を得た上で、問題解決に向けた対処を依頼すること。
- ③ 取得済みバックアップデータからのリカバリや手動による縮退運転移行等、各種運用手順書に従い、復旧操作を行うこと。
- ④ 障害が復旧するまで、作業内容を監理し、復旧したことを確認すること。
- ⑤ 早急に根本的に解決できない場合、連合会の了承を得た上で、一時的な対応を実施すること。かつ、恒久的な解決策を策定又は関連事業者に依頼すること。
- ⑥ 一連の障害対応を取りまとめ、内容を資料として残し、定期的に問題発生 of 統計を取り、発生 of 傾向を分析して、連合会に報告すること。

3. 1. 4. 業務報告

対象システムの運用管理支援業務報告を以下のとおりに実施する。

① 月次報告

システム運用実績を記録し、毎月第3火曜日までに各システムの稼動実績等、運用上の問題点、サービスレベル遵守状況を報告する。

② 重要トラブル報告

重要トラブルが発生した場合は、調査報告書を作成し、連合会へ報告する。なお、重要トラブルの定義は別途定める。

③ インシデント実績データの提供

トラブル及びお問合せの対応において管理された一次情報を、連合会に提供する。

3. 1. 4. 問合せ対応

対象システムの問合せ発生時において、以下の作業を実施する。

① 問合せ情報の管理

問合せを受け付けた際は、問合せ内容、回答内容、状況を管理し、連合会へ報告する。

② 問合せの回答書の作成

問合せとして受け付けた内容を確認し回答を作成する。なお、問合せの内容が関連業者に係る内容の場合には、それぞれの業者に通知し、問合せ回答に向けた回答作成を依頼する。

③ 問合せの管理・分析

問合せ内容を資料として残し、定期的に問合せの統計を取り、発生の傾向等を分析する。分析した内容は、集計し、報告書としてまとめ、連合会に報告する。

3. 1. 5. ソフトウェア更新

対象システムのソフトウェア資源について、以下の作業を実施する。

① パッチの提供に関する情報及び脆弱性情報の収集

対象ソフトウェアベンダからのパッチ（不具合修正を目的とするパッチ、脆弱性対策を目的とするセキュリティパッチの両方を含む。）の提供情報、及び脆弱性に関する情報を継続的に収集する。

② 脆弱性対応計画の作成

脆弱性情報又はセキュリティパッチの提供に関する情報を入手した場合、当該脆弱性への対応又は当該セキュリティパッチの適用に関する計画として取りまとめ、連合会の承認を得る。計画には下記情報を含むこと。

- ・ 対策の必要性
- ・ 対策方法
- ・ 対策方法が存在しない場合の一時的な回避方法
- ・ 対策方法又は回避方法が情報システムに与える影響
- ・ 対策の実施予定
- ・ 対策試験の必要性
- ・ 対策試験の方法
- ・ 対策試験の実施予定

③ パッケージパッチの定期適用

パッケージパッチを、定期的にシステムに適用する計画を作成し、連合会の承認の上で適用を実施する。

④ パッケージパッチの緊急適用

不具合修正のパッチプログラムを、システムに適用する計画を作成し、連合会の承認の上で適用を実施する。

⑤ ウィルスパターンファイルの適用

運用対象システムに導入されているアンチウィルスソフトウェアのパターンファイルの自動更新が行われていないものについて、連合会情報システム部から提供されるウィルスパターンファイル資源を適用する。

3. 1. 6. 構成管理

システムの構成変更に伴う以下の作業を行う。

① ハードウェア構成管理

管理台帳には、機器名称、機器明細等を記載し管理すること。構成変更があった場合は台帳を改定すること。

② ソフトウェア構成管理

管理台帳には、ソフトウェア名称、バージョン、パッチ情報、インストール先等を記載し管理すること。

3. 1. 7. 利用者情報

連合会の本番機使用に関する以下の作業を行う。

① ユーザ管理支援

連合会がシステムのユーザ管理を行う際の支援を行う。

② 権限管理

システムを使用するために利用者に対しアクセス権限を設定するが、その際の支援を行う。

3. 1. 8. アプリケーション修正

連合会からの作業依頼により、業務アプリケーションの軽微な修正を実施する。

(例)アプリケーションのパラメータ設定変更

マスタデータの追加・修正等

3. 1. 9. セキュリティ監査対応支援

対象システムに対するセキュリティ監査において、連合会から以下に示す指示があった場合は、それに従って対応すること。

- ・ 監査人への資料の提示(支援)
- ・ 監査人によるヒアリングへの対応(支援)
- ・ 監査人による視察における立ち合い(支援)
- ・ 監査人が監査に使用するIDの割り当て、及び監査実施後のその無効化(支援)
- ・ 監査人が実施する監査作業に必要なシステムの設定変更、及び監査実施後のその復旧(支援)

3. 1. 10. 業務実施する際の遵守事項

- ① 受託者は、原則として運用手順書、保守手順書等の手順書に従い、本業務を実施すること。また、本業務を実施するに当たっては、対象システムの詳細設計書の内容に準拠すること。
- ② 受託者は、対象システムの周辺システム、及びネットワーク構成全体について理解に努めるとともに、対象システムが周辺システムと連携するための稼動条件を適正に保ちつつ運用管理支援業務を実施すること。
- ③ 本業務の実施に当たり、受託者の責任に起因して、引継ぎ業務及び正常な運用管理支援業務の提供がなされなかった場合、又はシステム及び経理業務データに影響やトラブルを与えた場合には、受託者の負担と責任において対応すること。
- ④ 連合会は、受託者が本業務を履行する上で必要な関係書類を随時貸与する。ただし、貸与された書類は、連合会から請求があった場合及び履行期間終了後に連合会に返還すること。
- ⑤ 本業務の実施においては、全て日本語で対応すること。
- ⑥ 受託者は、連合会が定め又は指示する庁舎・設備等の管理・運用に関する諸規則を遵守すること。
- ⑦ 受託者は作業に際して必要な都度、連合会に状況を報告し相談しながら問題に当たること。

3. 1. 11. 引継ぎに関する要件

① 前業者からの引継ぎ条件

受託者は契約期間開始までの間に前業者から引継ぎを受けること。運用管理支援業務実施に当たっては、連合会が用意する借用端末を利用し、連合会が受託者に対して提供する運用手順書、保守手順書に従って運用支援作業を実施することとなるが、不明な点がある場合には連合会に照会する等、常に連合会と密な連絡を取り作業を行うこと。

② 次期業者への引継ぎ条件

受託者は、次期の運用管理支援業務の受託者(以下「次期受託者」という。)が異なる場合、対象システムの業務に影響を与えないよう、本業務の委託期間終了1ヶ月前から期日までに、受託者の負担と責任において、運用管理支援業務を滞りなく行えるよう次期受託者に対し確実に引継ぎを行うこと。また、引継ぎに当たり、以下の点を遵守すること。

- ・ 引継ぎの際は、引継責任者名及び引継内容等について、事前に引継計画書を作成・承認を得ること。
- ・ 引継ぎを行った結果について、連合会の承認を得ること。なお、承認を得られなかった場合は、受託者の負担と責任において、引継期間を延長して業務に支障がないよう対応すること。

③ 各種保守契約の移管

受託者は、現在対象システムで使用しているハードウェア、OS、ミドルウェアならびに製品パッケージであるSuperStreamの保守を継続して提供できるよう、前業者や各メーカーと協議、調整すること。

3. 2 ハードウェア・ソフトウェア保守

① 保守対象明細

保守対象明細は添付3「ハードウェア、ソフトウェア、SuperStream製品 構成明細」参照のこと。

② ハードウェア保守要件

項目	保守内容
保守時間帯	・平日9:00～20:00(但し、年末年始、祝休日は除く) ・上記時間帯以外であっても、連合会の業務都合による個別の対応依頼に対し、協議の上対応すること。
技術質問に対する回答	機器の使用方法、または提供マニュアルの記述等に関する問い合わせに対し回答すること。
基本情報の提供	・機器に関する以下の情報を提供すること。 -製品に関する仕様等の基本情報 -保守サービスに関する情報 -その他、保守対象製品に関する技術情報
障害対応のための技術支援	機器の障害発生時に、障害切り分け及び復旧のための技術支援を行うこと。
機器の障害修復	機器の障害修復の要請があった場合、技術員を機器の設置場所へ派遣して、障害機器の切り分け、修復、作動確認を行い、機器が正常に作動する状態に修復すること。

その他補足事項	・保守対応は日本語で実施すること。 ・年1回の計画停電作業時に障害が発生した際は、必要に応じて保守を提供すること。 ・契約期間中、保守部材は常に安定した供給が可能であること
---------	--

③ ソフトウェア保守要件

項目	保守内容
保守時間帯	・平日9:00～20:00(但し、年末年始、祝休日は除く) ・上記時間外であっても、連合会の業務都合による個別の対応依頼に対して誠意を持って協力すること。
技術質問に対する回答	サポート対象ソフトウェアの機能、使用方法に関する技術的な質問に回答すること。
基本情報の提供	・保守対象ソフトウェアに関する以下の情報を提供すること。 -リリース情報、修正情報等の基本情報 -保守サービスに関する情報 -その他、保守対象製品に関する技術情報
障害対応のための技術支援	保守対象ソフトウェアの障害発生時に、障害切り分け及び復旧のための技術支援を行うこと。
更新版ソフトウェアの提供	保守対象ソフトウェアの更新版を提供すること。 但し、更新版の定義は各メーカーの定めによるものとする。

3. 3 SuperStream-NX製品ライセンス保守

① SuperStream-NXライセンス明細

明細は、添付3「ハードウェア、ソフトウェア、SuperStream製品 構成明細」参照のこと。

② 保守要件

項目	保守内容
保守時間帯	・保守時間は平日9:00～17:30とする。 ・上記時間外であっても、連合会の業務都合による個別の対応依頼に対して誠意を持って協力すること。
技術質問に対する回答	・SuperStream-NX の操作方法、提供マニュアルの記述等に関する問い合わせに対して回答すること。
障害対応のための技術支援	・SuperStream-NX の障害発生時に、解析に必要な情報を入手したうえで障害復旧のための技術支援を行うこと。
更新版ソフトウェアの提供	・SuperStream-NX のリリース情報および修正情報、製品情報、保守に関する情報等提供すること。また、更新版ソフトウェアを提供すること。但し、更新版の定義は各メーカーの定めによるものとする。

第4章 運用体制

4. 1 運用体制

運用体制の構築については以下のとおりとする。

① 運用体制図の作成および改定

各役割を記載した運用体制図については、年度ごとに運用計画書に記載し連合会に提出すること。なお、運用体制には業務責任者の配置を必須とし、構成要員は会計業務及びSuperStream-NX製品に精通した者やインフラ運用等に精通した者とする。また、運用要員を変更する場合は、連合会の承認を得るものとし、変更する 1 週間前までに後任者への引継ぎを行うこと。

4.2 作業実施場所と作業環境

① 作業場所と作業体制

本調達の運用対象となる作業場所は、連合会内(東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎)と受託者オフィスとする。

② 作業環境

連合会から提供する作業環境を以下に記載する。

対象システム環境にアクセスして作業を実施する場合は、連合会に設置している運用保守端末を使用すること。当該端末を使用する場合は連合会と必要な手続きを実施した上で使用を許可する。当該端末の使用の際は、十分な注意を払い適正に使用するものとし、本業務以外の目的で使用しないこと。

- ・ 連合会が用意する環境
 - a. 保守作業場所(連合会内の事務室及び会議室)
 - b. 運用保守端末(連合会内に設置)
 - c. バックアップに係る消耗品(LTOメディア)
 - d. 光熱水費

受託者オフィス等での作業に係る一切の費用は受託者負担とする。

第5章 契約条件および応札条件

5.1 契約不適合

連合会の検査終了後から起算して1年以内に本業務に種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものを発見し、連合会が受注者に対してその旨を通知したときは、受注者の費用負担にて修補、追完等の対応を行うこと。

5.2 再委託

本仕様書に基づく作業の実施に当たって、すべての作業を第三者へ再委託することはできない。一部を再委託する場合は、再委託する当該業者名、作業内容・範囲、再委託理由等について事前に連合会に通知し、承認を得ること。第三者に再委託する場合の責任はすべて、受注者が負うものとする。また、受注者は再委託先業者を正當に管理し、機密保持、情報セキュリティ等に関して本仕様書が定める受注者の責務を再委託先事業者にも負うよう、必要な措置を実施すること。

5.3 応札条件

- ・ 実績
 - ・ 本対象システムと同等の運用保守業務の作業実績を有すること。

- ・ 統合経営ソリューションSuperStream-NX導入実績、もしくは運用保守実績を有すること。
- ・ 統合経営ソリューションSuperStream-NX製品のサポート(バージョンアップ版の提供含む)ができること
(SuperStream-NX製品のソリューションパートナーであること)
- ・ 参加資格

応札者は以下の資格を保有する事業者であること。(別途証明書類を提出すること)

 - ・ 令和7・8・9年度国家公務員共済組合連合会競争参加資格「役務の提供等」の「A」または「B」の等級に格付けされた者又は令和7・8・9年度全省庁統一資格「役務の提供等」の「A」または「B」の等級に格付けされた者であること。
 - ・ 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)が認定するプライバシーマーク制度(ISO15001又はJISQ15001)、若しくはISMS適合性評価制度(ISO27001又はIEC27001)の認定のいずれかを取得していること。

第6章 その他留意事項

6.1 遵守する法令等

- ① 「国家公務員共済組合連合会情報セキュリティの確保に関する規程」及び「情報セキュリティ対策基準」(以下「連合会セキュリティポリシー」という。)の内容を正しく理解し、遵守すること。また、これらの規程等を遵守するために、連合会から必要な指示があった場合はこれに従うこと。
なお、連合会セキュリティポリシーは非公表であるが、「政府機関のサイバーセキュリティ対策のための統一基準(令和5年度版)」(令和5年7月4日サイバーセキュリティ戦略本部)に準拠しているので、必要に応じ参照すること。連合会セキュリティポリシーの開示については、契約締結後、受託者が当会に守秘義務の誓約書を提出した際に開示する。
- ② 受託者は、本業務の実施において、民法、刑法、著作権法、不正アクセス行為の禁止等に関する法律、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律等の関連する法令等を遵守すること。

6.2 情報セキュリティ管理

受託者は、以下を含む情報セキュリティ対策を実施すること。

- ① 連合会から提供する情報の目的外利用を禁止すること。
- ② 本業務の実施にあたり、受託者又はその従業員、本調達役務内容の一部を再委託する先、若しくはその他の者による意図せざる不正な変更が情報システムのハードウェアやソフトウェア等に加えられないための管理体制が整備されていること。
- ③ 受託者の資本関係・役員等の情報、本業務の実施場所、本業務従事者の所属・専門性(情報セキュリティに係る資格・研修実績等)・実績及び国籍に関する情報提供を行うこと。
- ④ 作業を実施した機器等に不正な変更が見つかったときは、追跡調査や立ち入り検査等、連合会と受託業者が連携して原因を調査・排除できる体制を整備すること。
- ⑤ 情報セキュリティインシデントへの対処方法が確立されていること。
- ⑥ 情報セキュリティ対策その他の契約の履行状況を定期的に確認し、連合会へ報告すること。
- ⑦ 情報セキュリティ対策の履行が不十分である場合、速やかに改善策を提出し、連合会の承認を受けた上で実施すること。
- ⑧ 連合会が求めた場合に、速やかに情報セキュリティ監査を受入れること。

- ⑨ 本調達役務内容を一部再委託する場合は、再委託されることにより生ずる脅威に対して情報セキュリティが十分に確保されるように措置の実施を担保すること。
- ⑩ 連合会から要保護情報を受領する場合は、情報セキュリティに配慮した受領方法にて行うこと。
- ⑪ 連合会から受領した要保護情報が不要になった場合は、これを確実に返却、または抹消すること。
- ⑫ 本業務において、情報セキュリティインシデントの発生又は情報の目的外利用等を認知した場合は、速やかに連合会に報告すること。

6.3 機密保持

- ① 受託者は、本調達に係る作業を実施するに当たり、連合会から取得した資料(電子媒体、文書等の形態を問わない。)を含め契約上知り得た情報を、第三者に開示又は本調達に係る作業以外の目的で利用しないものとする。ただし、次のaからeのいずれかに該当する情報は、除くものとする。
 - a. 連合会から取得した時点で、既に公知であるもの
 - b. 連合会から取得後、受託者の責によらず公知となったもの
 - c. 法令等に基づき開示されるもの
 - d. 連合会から秘密でないと指定されたもの
 - e. 第三者への開示又は本調達に係る作業以外の目的で利用することにつき、事前に連合会に協議の上、承認を得たもの
- ② 受託者は、連合会の許可なく、取り扱う情報を指定された場所から持ち出し、あるいは複製しないものとする。
- ③ 受託者は、本調達に係る作業に関与した受託者の所属職員が異動した後においても、機密が保持される措置を講じるものとする。
- ④ 受託者は、本調達に係る検収後、受託者の事業所内部に保有されている本調達に係る連合会に関する情報を、裁断等の物理的破壊、消磁その他復元不可能な方法により、速やかに抹消するとともに、連合会から貸与されたものについては、契約終了後 1 週間以内に連合会に返却するものとする。

6.4 その他

- ① 連合会では現在稼働中の経理システムの更改作業を令和8年度に実施する予定である。本業務の受託者はシステム更改業務受託者からの要請に基づき、連合会の承認を得たうえで、現行システムに関する必要情報を取りまとめ、提供すること。また、データ移行作業等、システム切替時はシステム更改業務受託者と連携し作業を実施すること。
- ② 本業務仕様書の内容に疑義等が生じた場合は、連合会担当者と協議し決定すること。

以上

1. ハードウェア構成

■サーバー

ハードウェア名	CPU	メモリ	説明	内蔵ディスク	台数
rE5000/DL360 Gen10	Xeon S 4214R(2.40GHz,12コア) ×2	192GB	ESXi サーバー	300GB×2(RAID1)	2
rE5000/DL360 Gen10	Xeon S4208(2.10GHz,8コア) ×1	16GB	バックアップサーバー	300GB×2(RAID1)+ 2.4TB×5(RAID5)	1

■共有ストレージ

ハードウェア名	データ領域(GB)	キャッシュメモリ	用途	RAID構成	台数
SANARENA MV330	4,289	64GB	データストア領域	RAID5(7D+1P)	1

■UPS

ハードウェア名	アウトプット電源容量	負荷運転時間	定格入出力電圧	入力形態	台数
APC Smart-UPS 1500RM	1.2kW/1.2kVA	5分(1200W)	100V	NEMA 5-15P	4

■L2スイッチ

ハードウェア名	対応規格	対応ポート数	電源容量(W)	インターフェース	台数
Cisco Ctalyst 9200L	IEEE 802.3at / IEEE 802.3af	24	600	10Base-T/100Base-TX/1000Base-T(RJ-45)	2

■その他

外付けテープ装置(テープエンクロージャ3内蔵用LTO7)

ディスプレイ/キーボードユニット(8ポート切替機付き)

2. ソフトウェア構成

ソフトウェア名称	バージョン	説明
Windows Server 2019 Standard	10.0.17763 (最新)	マイクロソフト社が開発したWindowsNT系のサーバー向けオペレーティングシステム。
.NET Framework	4.7	マイクロソフト社が開発したアプリケーション開発・実行環境。
SuperStream-NX(統合会計)	2.7.0/20240601	スーパーストリーム社が開発した国内で高いシェアを持つERPパッケージの統合会計モジュール。
SVF for PDF & Universal Connect / X	9.2	ウィングアーク1st社が開発した帳票出力パッケージ。SVF for PDFは、PDFへの変換に特化した製品。
SQL Server Standard 2017	14.0.1000.169	マイクロソフト社が開発したリレーショナルデータベースシステム。
VMware vSphere	7.0	VMware社が開発した仮想化ソフトウェアのパッケージ製品。vSphere ESXi、vCenter Server等から成る。
ArcserveUDP	9.1	Arcserve社が開発したイメージバックアップソフトウェア。イメージバックアップをディスクに保存する。
Arcserve Backup	18.0	Arcserve社が開発したArcserveUDPと連動するテープバックアップソフトウェア。
PowerChute Business Edision	v1.0	APCジャパンが開発した、サーバーやワークステーションに対する安全なシャットダウンを行うソフトウェア。
PowerChute NetworkShutdown Virtualization	v4.3	APCジャパンが開発した、仮想サーバー環境に対する安全なシャットダウンを行うソフトウェア。
Dynamic Provisioning	バージョン表記無し	仮想化技術により、物理容量以上の論理ボリューム容量を仮想的にサーバーに割り当てる機能を提供するソフトウェア。

メニュー・ロールコード/名称	0000	10	15	20	25	30	35	40	45	50	60	65	備考
項目	全て	入力用（経理）	入力用（職共）	参照用（経理）	参照用（職共）	承認用（経理）	承認用（職共）	締め処理用（経理）	締め処理用（職共）	出納取込用（経理）	マスターメンテナンス用（経理）	マスターメンテナンス用（職共）	
0. システム管理者メニュー													
新会社セットアップ	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	→全削除も可
セキュリティオプションマスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
1. NX共通マスター管理													
会社情報修正	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
ユーザーマスター登録	更新&参照：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：× 参照限定：○	更新&参照：○	
ユーザーグループマスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
メニューロールマスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
銀行マスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
銀行支店マスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
承認ユーザーグループマスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
代理承認者グループマスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
処理種別マスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
ワークフロー-主管承認ルートマスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
ユーザーグループ別メニューマスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
2. 会計マスター管理													
マルチシステムメンテナンス	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 会計部門マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 伝票グループマスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 機能コード1マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 機能コード2マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 機能コード3マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 機能コード4マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 会計業務種別マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 会計業務マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 補助科目マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 科目マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 銀行口座マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 会計組織階層マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 会計組織分類マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 会計組織マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- システム区分マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 伝票種別マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 明細帳票マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 税処理マスター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
- 予算パターン	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
会計管理マスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
コード利用情報修正	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
会社明細登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
伝票集計科目マスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
ユーザー別伝票発着グループマスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
科目セキュリティディマスタ登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
部門セキュリティディマスタ登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
仕訳パターン登録	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
出力コントロールディマスタ登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
取引先セキュリティディマスタ登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
消費税表示設定マスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
科目属性変更	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
帳票フォーム定義マスター登録	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
3. 外部連携機能													
マスタデータ取込エラーリスト	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
マスタデータ取込	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
外部データ取込エラーリスト	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
外部データ取込	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
外部データ・配賦データ一括取消	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	
4. 申請・承認処理													
ワークフロー承認	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	
伝票チェックリスト	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	
各種伝票発行（詳細表示）	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	
5. 仕訳・配帳処理													
仕訳入力	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
仕訳伝票発行	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
仕訳日記帳	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
日計表	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
科目別日別残高表	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
仕訳伝票履歴管理リスト	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
9. 伝票帳票処理													
仕訳伝票帳票	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
承認履歴帳票	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
10. 一般会計基本帳票													
元帳	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
単一残高表	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
部門別表	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
月次損益表	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
四半期対比表	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
予算対比表	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
科目別相手先別残高表	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
科目別機能別残高表	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
科目別消費税帳票	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
現預金出納帳	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
科目・補助残高表	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
損益計算書（当月・当季）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
予算対比損益計算書（当月・当季）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
科目残高予算実績対比帳票	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
科目別部門別残高表	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
14. 予算登録													
予算登録	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
予算一般表	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
複数予算対比表	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
予算入力	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
16. 会計締め処理													
月末更新	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
年次更新	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
入力繰マスタ登録	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
24. NX共通機能													
パスワード変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25. 個別開発機能													
会計伝票（連合会）	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
会計伝票（共済組合分）	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
税勘定元帳	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
補助元帳	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
現金出納帳	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
出納計算表（経理部用）	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
出納計算表（検査所提出用）	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
決算精算表（経理部用）	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
決算精算表（財務省提出用）	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
平均残高計算表	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
財務諸表付属明細表（一括出力）	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	

【添付3】

項目	品名	型番	数量
■ハードウェア			
仮想化サーバ#1,#2	rE5000/DL360 Gen10 8SFF, NC, 7year	HJPPWH03604A-10B	2
	CPU (Xeon S 4214R, Slot1用)	HJPFHHA0831-CPU	2
	CPU (Xeon S 4214R, Slot2用)	HJPFHHA0829-CPU	2
	メモリ (16GB, 1R)	HJPFHHA0021-MEM	24
	HDD (300GB, 10K, SAS, SFF)	HJPFHHA0013-HDD	6
	アレイコントローラ (P408i-a)	HJPFHHA0003-DSC	2
	アレイコントローラ用 バッテリー	HJPFHHA0056-UNT	2
	LANボード (1Gb, 4ポート)	HJPFHHA0015-LAN	2
	LANボード (1Gb, 4ポート,DL360専用品)	HJPFHHA0019-LAN	2
	FCボード (16Gb, 1ポート)	HJPFHHA0001-FC	4
	DL360 PCIe スロットライザー	HJPFHHA0019-UNT	2
	内蔵DVD-ROMドライブ	HJPFHHA0000-DVD	2
	DL360 ユニバーサルメディアベイ	HJPFHHA0018-UNT	2
	電源 (100V/200V, 800W FS Platinum)	HJPFHHA0009-UNT	4
	電源コード (100V)	HJPFHHA0000-CBL	4
	DL360 ラックレールキット (SFF)	HJPFHHA0000-CAB	2
	日立工場オプション (カスタマイズキット)	HJPFHHA0006-HFS	2
	日立工場オプション (RAID)	HJPFHHA0004-HFS	2
バックアップサーバ	rE5000/DL360 Gen10 8SFF, NC, 7year	HJPPWH03604A-10B	1
	CPU (Xeon S 4208, Slot1用)	HJPFHHA0403-CPU	1
	メモリ (16GB, 1R)	HJPFHHA0021-MEM	1
	HDD (300GB, 10K, SAS, SFF)	HJPFHHA0013-HDD	2
	HDD (2.4TB, 10K, SAS, SFF)	HJPFHHA0008-HDD	5
	アレイコントローラ (P408i-a)	HJPFHHA0003-DSC	1
	アレイコントローラ用 バッテリー	HJPFHHA0056-UNT	1
	LANボード (1Gb, 4ポート)	HJPFHHA0015-LAN	1
	LANボード (1Gb, 4ポート,DL360専用品)	HJPFHHA0019-LAN	1
	SASボード (2ポート)	HJPFHHA0000-DSC	1
	内蔵DVD-ROMドライブ	HJPFHHA0000-DVD	1
	DL360 ユニバーサルメディアベイ	HJPFHHA0018-UNT	1
	電源 (100V/200V, 800W FS Platinum)	HJPFHHA0009-UNT	2
	電源コード (100V)	HJPFHHA0000-CBL	2
	DL360 ラックレールキット (SFF)	HJPFHHA0000-CAB	1
	日立工場オプション (カスタマイズキット)	HJPFHHA0006-HFS	1
	日立工場オプション (RAID)	HJPFHHA0004-HFS	1
ラック、コンソール UPS、オプション構成	ラックキャビネット(38Uラック)	HJPFHRK7386-CAB	1
	サイドパネル(38Uラック用)	HJPFHRS7386-CAB	1
	ブラックパネル	HJPFHRP7012-CAB	20
	100Vコンセントボックス	HJPFHAG7107-CAB	1
	ディスプレイ/キーボードユニット (8ポート切替機付き)	HJPFHHA0005-DSP	1
	コンソールケーブル	HJPFHB7113A-CAB	3
	UPS (1500VA/1200W, USB接続)	HJPFHHA0059-UPS	1
	UPS (1500VA/1200W, LAN接続)	HJPFHHA0009-UPS	2
	UPS 2400 Rack LL(2400VA Rack7年保守対応モデル)	HJPFHHA0013-UPS	1
	テープエンクロージャ3	HJPFHHA0060-UNT	1
外付けテープ装置	テープエンクロージャ3内蔵用LTO7 - 組込	HJPFHRS0006-LTO	1
	SASケーブル (2m)	HJPFHRS0010-CBL	1
	日立工場オプション(時間指定オプションサービス)	HJPFHHA0003-HFS	1
Storage装置	MV330コントローラ(2.5) 7年保守	HJPP LMV332-SS1	1
	MV330 Fiber 16Gbps 4-port	HJPF MV332-16H	2
	MV330-330 15K 600GB SFF	HJPF LMV332-6KG	11
	MV330 リモートアダプタ タイプA	HJPF MV302-R4A	2
	MV330 リモートアダプタ タイプC	HJPF MV302-R4C	2
	MV330 リモートアダプタ用HUB	HJPF MV302-R4H	2
	MV330 リモートアダプタ用トレイ	HJPF MV302-VR4	3
	MV330 リモートアダプタ用ケーブル (5m)	HJPF MV302-RC5	6
	MV330 リモートアダプタ運動ケーブル (5m)	HJPF MV302-XD5	2
	FC CABLE 10m (LC-LC) (OM4)	HJPF 1988-J10	4
その他	BS-GS2016 レイヤー2 Giga スマートスイッチ 16ポート	HJPB6155183-000	2
	C9200L-24T-4G-E	HJPK 30094-12H	2
	C9200L-STACK-KIT=	HJPK 30094-24H	2
	LANケーブル/CAT6/準拠/20m/ブルー LD-GPN/BU20	HJPB6155182-000	2
	LANケーブル/CAT6/準拠/2m/ブルー LD-GPN/BU2	HJPB6155181-000	10

【添付3】

項目	品名	型番	数量
■ソフトウェア			
WindowsOS(仮想化環境)	WindowsServerSTDCORE 2019 Japanese OLP 2Licenses NoLevel CoreLic	SP016059012	48
WindowsOS(Backup SV)	WindowsServerSTDCORE 2019 Japanese OLP 16Licenses NoLevel CoreLic	SP016059014	1
仮想化ソフト	vSphere 7 Standard for 1 processor	SRZH3803324	4
	vCenter Server 7 Foundation for vSphere up to 4 hosts (Per Instance)	SRZH3803388	1
DBMS	SQLServerStandardEdition 2019 Japanese OLP 1License NoLevel	SP016059015	4
Backupソフト	Arcserve UDP 9.1 Prm-2-5TB	SRZU643297H	4
	Arcserve UDP 9.1 Prm-2-5TB 5年更新権	SRZU643298T	4
ストレージ用ソフト	オペレーティングシステム ベースライセンス(MV330)	S ZE5304200	1
	Dynamic Provisioning(MV310-370)	S ZE5308201	1
UPS管理ソフト	UPS管理ソフトウェア(PCNS Virtualization v4.3)	SRZJ3860013	2
HUB用ソフト	C9200L-DNA-A-24-3Y	SRZH3008596	2

【添付3】

項目	品名	型番	数量
■ SuperStream	統合会計 Base User License(5U)	SRZK8892KA2	1
	統合会計 5 Standard User Pack	SRZK8892KA3	3
	統合会計 Standard User ※運用保守業者用(1userライセンス含む)	SRZK8892KA4	3
	統合会計 5 Standard User Pack	SRZK8892KA3	2
	Company License Pack	SRZK8892KA6	1
	統合会計 Limited User	SRZK8892KA5	1
	統合会計 Limited User	SRZK8892KA5	1
	統合会計 Limited User	SRZK8892KA5	1
	統合会計 Base User License(5U)	SRZK8892KA2	1

個人情報の取り扱いに関する仕様書

（基本的事項）

1. 受託者は、個人情報（個人に関する情報であって、特定の個人を識別することができると思われるもの。以下同じ。）の保護の重要性を認識し、本契約による業務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することの無いよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

（秘密の保持）

2. 受託者は、本契約による業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。本契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（収集の制限）

3. 受託者は、本契約による業務を行うために個人情報を収集するときは、その業務の目的を明確にし、目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

（適正管理）

4. 受託者は、本契約による業務に関して知り得た個人情報について、漏洩、滅失及び毀損の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

（目的外利用及び提供の禁止）

5. 受託者は、当会の指示又は承諾があるときを除き、本契約による業務に関して知り得た個人情報を、契約の目的以外に利用し、又は第三者に提供してはならない。

（複写又は複製の禁止）

6. 受託者は、当会の承諾があるときを除き、個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

（再委託の禁止）

7. 受託者は、当会が事前に承諾したときを除き、本契約による個人情報を取り扱う業務については、自ら行い、第三者に委託してはならない。

（資料等の返還）

8. 受託者は、本契約による業務を行うため当会から提供を受け、又は受託者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、本契約の終了後直ちに当会に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、当会が別に指示したときはその指示に従うものとする。

（従事者への周知）

9. 受託者は、本契約による業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても当該業務に関して知り得た個人情報を他人に知らせ、又は目的以外に使用してはならないこと等、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(調査)

10. 当会は、受託者が本契約による業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(事故報告)

11. 受託者は、本契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに当会に報告し、当会の指示に従うものとする。

(契約の解除及び損害賠償)

12. 当会は、受託者（受託者が再委託している場合は、その再委託先を含む。）が、本仕様書に違反していると認めたときは、本契約の解除及び損害賠償の請求をすることができるものとする。

以上